

## Destination 神海丸だより No.1 平成30年1月14日

### 浜田港

1月10日10時00分、専攻科1年生と海洋技術科2年は、神海丸へ乗船しました。約70日に及ぶマグロ漁業実習のスタートです。これから過ごす船内での日々は、生徒たちにとっては、長い70日であり、実習が終わる下船の日には遙か彼方に感じられることでしょう。しかしこの期間に己を成長させてくれる様々な出来事に出会うはずです。楽しいことばかりではなく辛いこともあるでしょうが、クラスメート全員で力を合わせて乗り越え、3月15日にはハワイのお土産とたくさんの思い出、そして成長した姿と日に焼けた精悍な顔つきで浜田へ帰る予定です。楽しみにお待ち下さい。



浜田港での点呼

06時30分に点呼です。航海に出る前に自分で起きる訓練も兼ねています。



ラジオ体操

「ラジオ体操第一！」と長浜岸壁におなじみの声が流れます。一日の始まりです。



掃除

船では毎朝、共用部分を手分けして掃除をします。写真は掃除中の1コマです。

### 浜田出港

1月14日ついに出港の日です。午前中は朝の掃除を終えた後、2年Mコースは日出没計算と操舵号令を学習し、Eコースは機関室内機器配置について学習しました。神海丸では実際に本物を見たり触れたりしながら学習できる貴重な機会だと改めて感じました。午後は出港式のために岸壁へ集合です。保護者の方の姿が見えるとみんな嬉しそうで、少しの時間でしたが見送りの人たちと歓談することができたのではないのでしょうか。本科・専攻科実習生が整列し出港式が始まりました。実習生たちは、学校企画課長〈S指導主事代読〉さんや校長先生、神海丸船長の話をしっかり聞いていました。そして、実習生代表で挨拶をしたFくんの姿は凛々しかったです。また、NHKや山陰中央新報さん等の取材を受けた生徒もいたようです。出港式後は即出港スタンバイで専攻科生はそれぞれの配置へ、本科生はポートデッキへ上がり、並んで見送り



出港式の1コマです。この後F君が凛々しく威風堂々と実習生代表挨拶をしてくれました。



見送りの人たちの姿がどんどん小さくなっていきます。「行ってきます。」3月15日にまた会いましょう。



1年生のカッター一部の生徒が手旗信号を掲げて見送りしてくれました。浜田の街ともしばしお別れ、学校も静かになりますね。

を受けました。神海丸が岸壁から離れ、ゆっくりと動き出すと、いよいよ出航だと感じます。だんだん小さくなって行く見送りの人達へ、一生懸命に帽子を振りました。

### 【指導教官の独り言】

乗船してから3日間ほど大雪に見舞われ、浜田水産高校の職員室の中では「嵐を呼ぶ男」に加えて、新たに「冬将軍を呼ぶ男」という不名誉な称号を頂きましたが、予定どおり無事に出港ができて、ほっとしております。

さて、この便りは1年生の時にあまり出せなかった **Destination** の神海丸版です。これから10日間に1回のペースで発行しようと思っています。出港当日は、たくさんのお見送り有難うございました。それと、 Cutter部の1年生と教職員の皆様、休日にもかかわらず見送って下さり有難うございました。

皆様から頂いたエールを糧にこの航海を乗り切っていきたいと改めて思った出港日でした。